

1. <施策の概要>

基本理念	次世代を担う豊かな心と創造力を育む教育環境のまちづくり	統括課	教育部 生涯学習課
基本方針	生涯学習		
施策名	文化振興	関連課	
方針・目標等	◆文化財の保存と活用や、文化芸術の振興を図ることにより、住民生活の文化的向上と地域文化の発展に役立てる。		
実施内容	◆文化財の調査・研究。 ◆文化財の保存と、それに基づく活用。 ◆精華町文化協会など、住民の自主的な文化活動の推進。 ◆文化振興の担い手となる人材の発掘と支援。		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ 文化協会加盟人数	名					教育委員会資料	
②	文化協会加盟サークル数	団体					教育委員会資料	
③								
④								
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		800	800	800	800	800	800
	実績		700	667	694	773		
②	目標		55	55	55	50	50	50
	実績		53	51	46	46		
③	目標							
	実績							
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・精華町文化協会の「せいか文化フェスティバル」を始めとする各種発表会や展示会など諸事業は、文化協会加盟サークルの発表の場であるとともに、文化の普及啓発という目的をもって開催されており、これらの事業をきっかけにサークルに加入される方がいるなど、文化活動の裾野の拡大につながっている。
 ・文化協会加盟人数や文化協会加盟サークル数は、構成員の高齢化などの減少要因はあるものの、新規加入サークルが誕生するなど、今年度は若干増加した。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・精華町文化協会が自主的に行っている「せいか文化フェスティバル」をはじめとする各種発表会や展示会などの諸事業をさらに充実させるとともに、文化協会活動で得た成果を、社会に還元することによって(初心者向け体験教室など)、新たなサークルの結成や会員の増員を支援していくための方策を検討する必要がある。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	生涯学習課	-	7,213	6,726	7,244	7,249	7,249
	社会教育活動助成事業	2,562	2,562	2,560	2,555	2,560	2,560
	一般事業 249	-	2,562	2,560	2,555	2,560	2,560
2	生涯学習課	-	4,538	14,144	13,370	-	-
	国民文化祭開催経費	-	60	3,397	3,797	-	-
	一般事業 251	-	60	1,800	2,200	-	-
3	生涯学習課	-	905	889	1,254	1,386	1,386
	文化振興事業	25	85	113	78	210	210
	一般事業 249	-	85	113	78	210	210
4	生涯学習課	-	5,427	5,118	5,569	5,563	5,677
	文化財保護事業	4,188	4,202	3,744	4,392	4,386	4,500
	一般事業 255	-	4,202	3,744	4,392	4,386	4,500
5	生涯学習課	-	5,395	5,998	1,595	12,567	12,567
	町内遺跡発掘調査	1,851	3,768	4,903	28	11,000	11,000
	一般事業 255	-	0	0	28	3,000	3,000
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・第26回国民文化祭・京都2011「少年少女合唱フェスティバル」を、全国から多くの合唱団を迎えて開催した。町民あがての取り組みとなったが、この成果をいかに、次年度以降に引き継ぎ、新しい文化の創造につなぐかが課題である。 ・「精華町民文化賞」の授与、並びに「精華町文化・スポーツ振興奨励金」の交付により、それぞれの活動に対する支援、激励となるなど効果があった。 ・指定文化財や、古文書・歴史資料、民俗文化財、埋蔵文化財などの文化財については、保存のための必要な措置を講じ、また、調査・研究を進めることにより、その保存と活用が図れた。しかし、対象が多岐にわたり、それぞれに対処の仕方や作業内容が異なるため、これに関わる人員や時間の不足は否めない。

5. <施策の今後の方向性>

・国民文化祭の開催を契機に、地域住民や関係団体と連携した文化の振興を目指していく。
 ・文化の振興を図るため、精華町文化協会の活動に対する支援を継続して行っていくが、将来的には、自立した活動が行えるよう、組織の強化を図っていく。
 ・文化財の保護については、住民の文化的向上を支える資財として、引き続き、地道に資料の整理、調査・研究を進め、確実な保存とそれに基づく活用を図っていく。